

科目名	スポーツと法 I	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			法律学科	□ 必修 ■ 選択
英文表記	Sports and law I	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年	
			開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中
ふりがな	さとう ひろとし	実務家教員担当科目	修得単位	2 単位
担当者名	佐藤 寛稔	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	スポーツに関係する事案を使った法学入門			
到達目標	スポーツにかかわる法律問題を考えることによって初歩的な法律学知識を身につけることができる。			
授業概要	私たちは日々スポーツを楽しんでいるが、その一方でスポーツ中の事故やスポーツ団体が抱えるトラブルも数多く存在する。この科目ではそうしたスポーツの中の法律問題を特にピックアップし、その法的な解決策を学ぶ。			
授業計画				
第1回	憲法編① ガイダンス 憲法学における自由と平等			
第2回	番外編 ジャッキー・ロビンソンの功績を学ぶ			
第3回	憲法編② スポーツの国際化と人種差別是正の動き			
第4回	憲法編③ 甲子園で女子マネージャーがグラウンドにはいることの是非			
第5回	憲法編④ 投げさせ過ぎは、「人権侵害」？			
第6回	憲法編⑤ ドーピング検査とプライバシー			
第7回	憲法編⑥ 選考会の結果は司法審査の対象になる？			
第8回	憲法編⑦ ドラフト制度と職業選択の自由			
第9回	行政編① スポーツと国家・地方自治体 「スポーツ振興」機関			
第10回	行政編② 公共スポーツ施設の管理・運営			
第11回	民法編① ファールボールが観客に当たったときの責任			
第12回	民法編② 部活動での安全配慮義務			
第13回	民法編③ 様々な選手契約の形			
第14回	民法編④ 野球ゲームの出演料？			
第15回	民事編⑤ 指導者の責任			
第16回	期末試験			
授業時間外の学習	スポーツに関するトラブルを新聞などで見つけて、自分なりに考えておく。			
履修条件 受講のルール	憲法、民法の関連科目を履修し、単位を修得していることが望ましい。 野球の話題が中心になるので、その点を了解できること。			
テキスト	六法を必ず持参してください。			
参考文献・資料	適宜配布します。			
成績評価の方法	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)			
オフィスアワー	火曜日・水曜日 9:00～10:30			
成績評価基準	期末テスト 60%、レポート課題 40% ・出席回数規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。			

実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	学生の皆さんは日々なんらかの形でスポーツとかかわっていると思います。日々目にするスポーツを素材にすることで法律学の面白さを感じてください。